

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3141660号
(U3141660)

(45) 発行日 平成20年5月22日 (2008. 5. 22)

(24) 登録日 平成20年4月23日 (2008. 4. 23)

(51) Int. Cl. F 1
A 6 3 B 69/36 (2006. 01)
A 6 3 B 69/36 5 1 1 A
A 6 3 B 69/36 5 1 1 E

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願2008-890 (U2008-890)
(22) 出願日 平成20年1月22日 (2008. 1. 22)(73) 実用新案権者 508051263
有限会社イツモ
東京都西東京市田無町2丁目12番11号
405号室
(72) 考案者 大関 悦男
東京都小金井市関野町1丁目1番3号 ハ
イブリッジ91 201

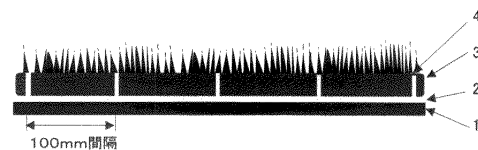
(54) 【考案の名称】 天然芝ゴルフ練習用マット

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 ゴルフの練習において、人工芝マットに代えて、天然芝で構成し、あたかもゴルフ場でゴルフボールを打ち出すのと同様な練習ができるゴルフマットを提供する。

【解決手段】 天然芝 3 を用いたゴルフ練習用マット 1 は、マット本体部と芝生をシリコン又はウレタン樹脂により接着し、更に芝生に等間隔に開けた穴 4 に樹脂を流し込みマット本体部と芝生との接着 2 を強固にし、天然芝の剥がれを防止した。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

合成樹脂又はゴム素材からなるマット本体部、マット本体と天然芝の接着部、および前記マット部、前記上部接着部の少なくとも一つに固定され、ゴルフ場の打席を擬製して前記マット部の上部にまで延びる天然芝を含む、ゴルフ練習用マット。

【請求項 2】

天然芝は畑から切り出されたものを使用し、刈り込む長さにより、フェアウェー仕様、ラフ仕様、グリーン仕様の 3 パターンでの使用を可能にした天然芝を用いた請求項 1 に記載したゴルフ練習用マット。

【請求項 3】

前記天然芝マットは使用する場所により、大きさを自由に決めることが出来ることを特徴とする請求項 1 に記載の天然芝を用いたゴルフ練習用マット。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案はゴルフの練習において、人工芝マットに代えて、天然芝で構成したマットであり、あたかもゴルフ場でゴルフボールを打ち出すのと同様な練習用として使用する為のゴルフマットに関するものである。

【背景技術】**【0002】**

ゴルフの練習において、表層に人工芝を形成したマットが多く使用されている。また、天然芝を形成したマットにおいても、固定性が悪く、芝がすぐに剥がれ、使えなくなってしまうていた。

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

従来の人工芝のゴルフ練習用マットでは、実際にゴルフ場の天然芝でプレイする感覚はなく、また、天然芝を形成したマットでは、すぐに芝が剥がれて使えなくなってしまう欠点を解決しようとするものである。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

本考案の天然芝を用いたゴルフ練習用マットは、マット本体部と天然芝をシリコン又はウレタン樹脂により接着し、天然芝生シートに等間隔（100mm）で穴4をあけ、そこに柱状にシリコン又はウレタン樹脂を流し込み、マット本体部と芝生との接着を強固にし、天然芝の剥がれを解決する。

【考案の効果】**【0005】**

天然芝の固定性を強化し、すぐに天然芝が剥がれてしまうことを防ぐことにより、人工芝ゴルフ練習用マットのような繰返しの使用性と、ゴルフ練習において、実際のゴルフコースに近い状態で練習ができる、天然芝を用いたゴルフ練習用マットを提供できることである。

【考案の実施するための最良の形態】**【0006】**

本考案の天然芝を用いたゴルフ練習用マットは、持ち運びが出来る為、プレーヤーは、ゴルフ練習の際に場所を選ばず、どこでも天然芝を用いた前記のゴルフマットを使用してゴルフ練習ができる。

【実施例】**【0007】**

以下、添付図面に従って実施例を説明する。1は弾性を有するゴム製のマットで、2は1のゴム製のマットと天然芝の接着面であり、ゴルフボールを打った時の感覚をよりゴルフ

10

20

30

40

50

場での感覚と近いものにする為と芝の剥がれを少なくする為に、弾力性のあるシリコンやウレタン樹脂を使用した。マット上部の天然芝3上にゴルフボールを置きゴルフの打ち出す練習用として使用し、サイズも自由に出来るので、自宅の庭などで手軽に利用することが出来る。

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】本考案の実施の形態を示すマットの要部の断面図である。

【図2】本考案の実施の形態を示すマットの斜視図である。マット1と芝生下部はシリコン又はウレタン樹脂により接着し、さらに芝生シートに等間隔（100mm）で穴4をあけ、そこに柱状にシリコン又はウレタン樹脂を流し込むことによりマットとの接着を強化し、ゴルフボールを打ったときの飛散を最小限に留めた。

【図3】本考案の実施の形態を示す要部の断面図である。

【符号の説明】

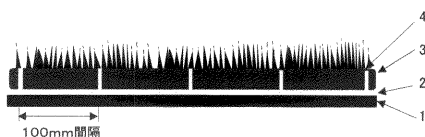
【0009】

- 1 マット
- 2 マットと天然芝生との接着面
- 3 天然芝
- 4 天然芝に開けた穴でシリコンまたはウレタン樹脂を流し込んだ穴である。
- A ゴルフボール

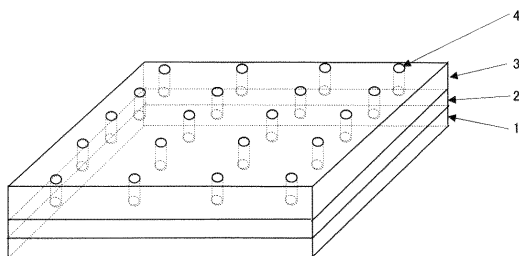
10

20

【図1】



【図2】



【図3】

